

武田正樹 議員



液状化の危険のある鍋田 海岸堤の改修状況は

問

防災について聞く。

- (1) 国が整備する高潮防波堤とGPS波浪計の現況
- (2) 市の津波避難計画の現状は。
- (3) 緊急時の避難路について聞く。
- (4) 災害時における情報伝達について聞く。
- (5) 「稲むらの火(江戸時代の津波が題材の物語)」を、防災教材として、今後考えてはどうか。
- (6) 鍋田海岸堤は、全長7kmのうち4.1kmが液状化による崩壊の危険性がある。改修状況は。
- (7) ①鍋田2期地区、②新孫宝地区、③大神場地区の排水機場の更新状況は。
- (8) 排水路の改修状況は。
- (9) 2集落に1カ所、避難所設置を願いたいだが、どう

か。

2.9kmが完了
今後も県に要望

答 防災安全課長

(1) 高潮防波堤は26年度完成を目指し、高上げして



▶ 新孫宝排水機場を見学する議員

津波が越流しないよう計画されている。

GPS波浪計は、夏に運用開始予定となっている。

(2) 国の作業が遅れており、早くても、県が6月に発表する予定になっている。

市の計画は、県が発表された後になる。

(3) (国の)津波対策推進マニュアル検討会のモデル地区に(市が)なっている。

どうすれば避難経路を策定できるかのノウハウをつかむことができた。

(4) 同報無線、エリアメール、安心メール、ケーブルテレビのテロップ放送、市ホームページ、ツイッターで直接情報の伝達ができるようになってきている。

4月からミニFMが開局される予定になっている。

(5) 紙芝居もホームページで取り出すことができる。そういったものを使いなが

ら、防災教育の一環で考えたい。

答 農政課長

(6) 8年度から順次液状化対策工事が実施され、23年度までに2.9kmが完了したと(県に)聞いている。

早期対策を要望していきたい。

(7) ①稲元および鍋田南部排水機場が27年度完了、②24年度完了、③第1排水機場が25年度完了である。

今後、25年度に末広第2排水機場、26年度に松名排水機場ポンプのオーバーホールを予定している。

(8) 西尾張中央道西側の幹線排水路と末広川排水路の改修が、27年度に完了するなど、県、土地改良区と連携し、排水障害の解消に努めていきたい。

答 市長

(9) 24年度に栄南学区、25年に十四山地区で順次拡大していきたい。

地域の共助の中で、市も精査するので理解してほしい。